



施設長トーク 家族支援の充実を、暮れゆく12月に思う

月日の経つのは速く、あっという間に年の瀬を迎えた。えーる油山は、多くの皆様方からご支援をいただき、今年4月1日に開所し、9カ月が経ったところである。その間通所する仲間が増え、現在通所利用者19名で通所生活を送る日々である。ドイツの詩人「シラー」は、未来・現在・過去を次のように表現している。『時の歩みは三重である。未来はためらいつつ近づき、現在は、矢のようにはやく飛び去り、過去は永久に静かに立っている』・・・まさにその通りで、後悔や満足感、そして希望や儚さがその人の中を往来しているであろう。

さて、葦の家法人内では、ご利用者(仲間)のお父様が2月、8月、9月、10月と4人亡くなられ、地域の方で葦の家に愛情を持ってかかわってくださった方が、6月、7月、9月に亡くなられた。人の命の儚さを感じた2016年であった。亡くなられた方々に、心からご冥福をお祈り申し上げると同時に残されたご家族が豊かで充実した生活を送ることができるように福祉サービスの充実を切望するところである。

これからの家族支援は、高齢になった保護者及び高齢を迎える仲間たちへの支援、及び親亡き後の支援を具体的に進めていくことである。福岡市の喫緊の課題であり、施策として進めていただく時代がすぐそこまで来ているように感じた2016年であった。

今年も年が暮れようとしています。ご支援をいただいた多くの皆様方に心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。来年も皆様方のご多幸を祈念いたします。

多機能型障がい福祉サービス事業所「えーる油山」管理者 小関 正利

サビ管の一言コラム

11/10(木)、11(金)に行なわれたハローデイ様の社員大会にえーる油山・葦の家の仲間たちがバザー出店させていただきました。日頃から店舗で販売させていただき、いろいろなところで売る喜びを感じているところですが、今回は授産品の販売・原画などの展示をさせていただき、お世話になっている社員の皆さまに仲間たちのことを知っていただく機会となりました。今後、このようにご協力いただける方々との輪が広がっていくことを願っています。ありがとうございました。

(サービス管理責任者 藤 環)



支援部だより

東油山で働いて半年以上過ぎました。初めころは、整形外科と違って来られる方もいらっしゃいましたが、今では下校途中の小学生と仲良くなれたり、買い物途中の地域の方に「いもは入ってますかね～」と話しかけて頂いたり、顔なじみの方とのつながりができてきました。毎週出店しているバザーも、地域の方にボランティアで来ていただいています。仲間たちはたまに窓から大きな声であいさつをしたり、ちょっとご心配・ご不安をおかけすることをしたりとみなさんをびっくりさせてしまうこともあります。地域の方々に温かく見守られていると感じながら、のびのびと安心して働くことができていることにありがたいな～としみじみ感じています。今後ともよろしく願います。(支援部 岡村)

◇12月の予定

8日 ハローデイ姪浜店バザー 13日 ハローデイ橋本店バザー
 15日 ハローデイ周船寺店バザー 22日 ボンラパス薬院店バザー



塔かき CHANNEL ～バスハイク(バーベキュー)～

11/10(木)油山市民の森 バーベキュー場で仲間・保護者・職員でバーベキューをしました。雨が心配されましたが、みんなの日頃の行ないがいいのか(?)食べ終わるまでなんとかもってくれました。えーる油山としては初めての外出です。たくさんのお肉と焼きそばをおなかいっぱい食べて、楽しいひと時を過ごすことができました。

Tさん「生まれて初めてのバーベキューでした。お肉がおいしかったし、苦手な野菜がいっぱい食べられて良かったです。」

澤邊さん「初めてのバスハイクで、寒かったり、煙が目にしみたりしましたが、仲間と火のそばでたき火の歌を歌ったり、ウイナーやお肉、焼きそばを食べられたりして良かったです。食後のあたたかいコーヒーもおいしかったです。」